

# スズキ・メソード 羽田空港で演奏会

年末に児童ら

世界に広まる音楽教育法、スズキ・メソッドの演奏会が年末、羽田空港（大田区）で開かれる。十四年ぶりに来年三月に国内で開かれるスズキ・メソッド世界大会のプレイベントで、大勢の子どもたちがバイオリンを奏でる。知的なハブ（拠点）空港を目指す羽田空港を舞台に、教育のグローバル化をアピールする。（松村裕子）

スズキ・メソッド（社団法人・才能教育研究会）長野県松本市）の会長で、構想を提唱する国際教養大（秋田市）の中嶋嶺雄学長が提案した。演奏するのは、都内や神奈

川県内の幼児や児童数十人。開催日はクリスマス。クリスマスソング



スズキ・メソッド、母語を学ぶように、才能教育研究会の別名。世界的バ

イオリストを育てたり、国内外から指導者ら4000人が集まり、研究会や講演会、コンサートなどを催す。

も含めた演奏会の前後に構想を紹介する。構想をアピールするイベントとして、構想の実現に向け提言する有識者会議（座長・中嶋学長）は十月、国際通貨基金（IMF）総会の都内開催にちなむ国際経済のシンポジウムを空港で行う。十一月にもアフリカの人材育成をテーマにしたシンポジウムを計画しており、スズキ・メソッドを学ぶ子どもは、欧米やアジア、中南米など四十六カ国で四十万人に上る。中嶋学長は「次回は、世界各国の子どもたちが参加する演奏会にし、音楽教育のシンポジウムなどもあわせて開きたい」と話す。夢も本格的に羽ばたきそうだ。

平成24年8月14日  
東京・朝刊